

現地  
開催

日付 9月1日(日)

時間 12:05~13:05

会場 4号館 1F 第2会場  
(白鳥ホール南)

# 美容皮膚科 × 美容内科の連携術

美容内科の知識を活かした肌トラブルへの新しい戦略



座長

青木 晃 先生

一般社団法人 日本美容内科学会 理事長  
医療法人晃和会  
ウェルエイジングクリニック南青山 理事長



演者

岩間 美幸 先生

BIANCA CLINIC

美容皮膚科のその先へ  
～美容内科との融合で出来ること～



演者

前田 陽子 先生

BIANCA CLINIC

美容皮膚科領域における  
栄養補助食品の可能性

～明日から始める! 健康的な肌は健康的な体から～



日本美容皮膚科学会  
Japanese Society of Aesthetic Dermatology



MSS

共催: 第42回日本美容皮膚科学会総会・学術大会 / 株式会社MSS

# 美容皮膚科 X 美容内科の連携術

現地開催

日付 9月1日(日)  
 時間 12:05~13:05  
 会場 4号館 1F 第2会場  
 (白鳥ホール南)

美容内科の知識を活かした肌トラブルへの新しい戦略

## セミナー 概要

### 美容皮膚科のその先へ

—— 美容内科との融合で出来ること ——

岩間 美幸 先生(BIANCA CLINIC)

近年、美容皮膚科の領域においても、美容内科治療の重要性が高まってきている。

美容皮膚科ではビタミン類やトラネキサム酸などの処方があるが、個々の患者の血液検査データに基づき、最適な栄養補助食品を提案する「オーソモレキュラー療法」のように、美容内科独自の治療アプローチを、美容皮膚科治療と組み合わせて実践しているクリニックは少ない。

しかし、皮膚の健康には内科的な視点からのアプローチも不可欠である。一方で、美容皮膚科治療と美容内科治療を同時に行うことは、患者の経済的負担が大きくなるという課題もある。そこで今回、美容皮膚科のその先を目指し、美容内科との融合による新たな治療戦略を検討した。

具体的には、産後のホルモンバランスが不安定な症例のシミ治療、美容皮膚科の施術単独では効果が頭打ちになっていた症例、イソトレチノイン内服の乾燥などの副作用から切り替えを行いたい症例などに対し、血液検査結果に基づいて最小限の栄養補助食品を併用することで、治療成績の向上を図った。

当院での治療症例を提示し、この新たな美容皮膚科と美容内科の融合したアプローチの臨床での活用方法について検討したい。

### 美容皮膚科領域における栄養補助食品の可能性

—— 明日から始める！ 健康的な肌は健康的な体から ——

前田 陽子 先生(BIANCA CLINIC)

美容皮膚科と美容内科の連携は、美容医療の質を向上させる新たな戦略である。特に、栄養補助食品を美容皮膚科の治療に併用することで、より良い治療結果はもちろん、全体的な体調の改善も目指せる可能性がある。

本発表では、「美容皮膚科領域における栄養補助食品の可能性」と題し、栄養補助食品が美容皮膚科の領域においてどのように利用され得るか、その科学的根拠と臨床的効果について検討する。

筆者自身、肌トラブルの改善の目的に限らず栄養補助食品を取り入れた治療を実践し、様々な病状に対する効果を経験している。もちろんこれらの治療で、全ての症状が改善するわけではないが、自費診療の分野でこの治療法が普及していないのは非常にもったいないと感じている。美容皮膚科で一般的に処方されているビタミン類を使用する際にも、今回紹介する栄養補助食品のように、容量や成分の種類、バイオアベイラビリティを改善する工夫を取り入れることには多くのメリットがある。

また本発表では、「明日から始める!」と題したように、具体的で最小限に絞った栄養補助食品が、美容皮膚科の治療や日常的なスキンケアルーチンにどのように組み込むことができるか、その効果的な使用方法についても詳述する。

症例の血液検査データの変化と、皮膚症状の変化を併せて提示し、美容皮膚科と美容内科、特に栄養補助食品を用いた治療の連携が、患者一人ひとりの具体的なニーズに合わせた、カスタマイズされた治療の第一歩となりうる可能性について検討する。